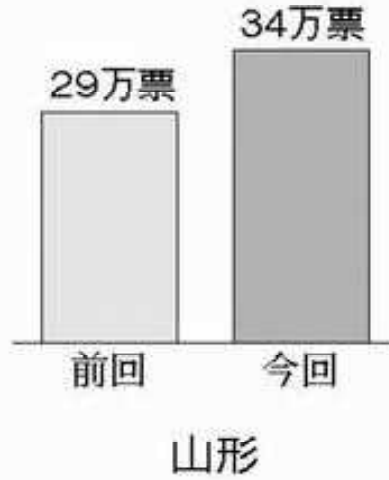


## 野党共闘の力で舟山さん 大差で勝利 改憲勢力の暴走許さない運動を

7月10日投票日開票であこなわれた参議院議員選挙は、「自公と補完勢力」に対し、野党と市民が力をあわせてたたかっ、戦後かつてない選挙となりました。

山形では、前回は野党2人で約29万票に対し、今回は野党統一の舟山康江氏(写真左)は約34万票に伸ばし、自民党候補(27万票から22万票へ減少)に大差で勝利しました。

### 野党共闘の効果



岩淵 友氏

梨、三重、大分、沖縄の11の選挙区で自民党候補に勝利しました。複数区でも北海道では野党が多数となり、TPPや自民党農政に農村から反旗を翻しました。

全国32の1人区すべてで野党統一候補を実現し、秋田を除く東北5県と新潟、長野、山

日本共産党は、比例代表選挙で岩淵友氏(写真右)の初当選など5議席を獲得し、選挙区選挙では東京で当選を勝ち取り、改選3議席を6議席へと倍増させ、非改選とあわせて14議席へと前進しました。

### 一国の首相が名指しして連日攻撃

選挙戦では、安倍首相が、日本共産党を名指しして連日攻撃するかつてない異常な選挙でした。

選挙で問われたのは「自衛隊が違憲か合憲か」ではなく、「自衛隊を海外の戦争に派兵することを許すかどうか」が真の争点であることが明らかにし、正面から反撃しました。

そのもとでの比例代表選挙で日本共産党の

日本共産党								市町名
'12衆院	得票率	'13参院	得票率	'14衆院	得票率	'16参院	得票率	
4,990	7.17%	6,152	9.66%	7,733	11.82%	7,653	11.83%	鶴岡市
236	5.55%	315	8.63%	378	9.91%	334	8.77%	三川町
495	3.89%	697	6.16%	992	8.83%	913	8.03%	庄内町
5,721	6.62%	7,164	9.11%	9,103	11.31%	8,900	11.14%	合計
28,219	4.73%	33,887	6.06%	44,833	8.36%	42,591	7.60%	県総計

### 山形県区候補の得票数

市町名	舟山康江 無所属 元	月野 薫 (自民 新)	白鳥良太 (諸派 新)
鶴岡市	38,475	25,766	2,614
三川町	2,516	1,289	124
庄内町	7,542	3,972	378
合計	48,533	31,027	3,116
県総計	344,356	223,583	15,223



舟山康江氏

## 私の昭和 34

鈴木重雄(88歳・八色木)

### 農協勤務①

私は前にも述べたとおり、国民学校を卒業すると隣村の素封家日向家に若勢奉公に出ることになった。

担任の先生が進学の勧誘に来ていたが、農業の働き手が徴兵され人手不足も深刻であったし、家計も火の車であったので断った。

父も勉学が好きで子どもに自分の願いをかなえたい気持ちはあったが無理。

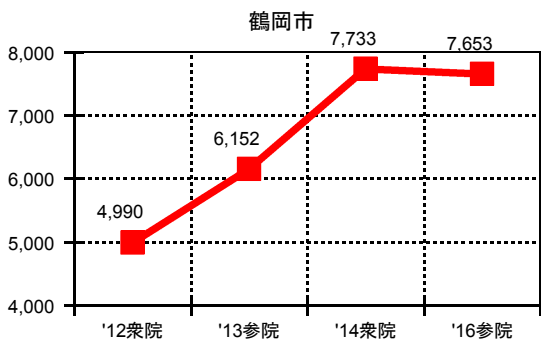
日向家は、庄内藩主酒井家の支配人を務めており立派な人物が育った家柄で、主人(名誉市民、東北大学名誉教授日向康吉氏の父)は農業会長や村会議長、農村工業協同組合(自転車、農機具製造後に庄内経済連に吸収)の役員も務められていた。

したがってこれから農業農村について夕食を一緒にしながら、これからは農業団体が強化され職員も必要になる、私もその方向に進む様にアドバイスをしてくれるので願って

辞令  
鈴木重雄  
八栄島村農業協同組合書記に任ずる。

昭和23年11月20日  
組合長 鈴木孝蔵

### 日本共産党得票数の推移



601万票余、鶴岡での7653票の獲得は大変貴重な成果です。

今後、改憲勢力の暴走を許さない運動を大きく広げ、来たる総選挙に向けて野党共闘と市民の力を一層高めていかなければなりません。



# 昭和も遠く15 中町・成澤功

## 生きて虜囚の辱しめを受けず①

戦時中、鶴岡市文下（現在は北向き）に佐藤作太郎さんという人がいた（大正中期〜昭和50年頃）。

東北畜産kyk社員で、昭和18年に召集令状、赤紙1枚で中支戦線へ。

間もなく文下の生家へ市役所から戦死の公報が入る。遺骨のないまま葬儀をし、新しい墓を建立した。

当時、東北畜産の社長は成澤武雄。作太郎さんは豚牛解体の腕と人柄もよく、会社全員の信頼を得ていた噂を聞いていた私は子ども心にも無性に悲しかった。

（現在は北向き）。

20年の秋、何とこの場所での佐藤作太郎さんとバッタリ会ったのだ。ちゃんと2本足でこちらに向かつて歩いてきた。同じ会社の成澤重一（武雄の実弟）と肩を並べて同歩調をとっていた。

後刻、本人から聞いた話によると、中くらの山の崖の上で敵軍と交戦中、つい足を滑らせて崖下に転落。頭を強打して意識不明となり、目が覚めたら中国軍の野戦病院だった。



明治35年頃の鶴岡高等女学校（現・鶴岡北高）。昭和27年8月2日の火災で本校舎等大半を消した。

1ヶ月余りそこで療養生活を送った末、平時の輸送船で故国に帰ってきたのだ。

（つづく）

## とと姉ちゃん再登場

『暮らしの手帖』と戦後の原点  
—しんぶん赤旗を読んで 青山崇

鳥越俊太郎さんが野党統一候補で都知事選に大決断、野党共闘がまた前進。「安倍内閣は戦後最悪の内閣、黙ってはいられない。野党

統一候補なら立候補」と決意表明。選挙結果のマスコミ報道は、改憲勢力3分の2を大きく、野党統一候補11議席（3年前は野党計2）の前進は小さく、改憲の道を支持するがごとき記事に腹が立っていたので「政治・歴史は必ず前進！」と喝采を送った。

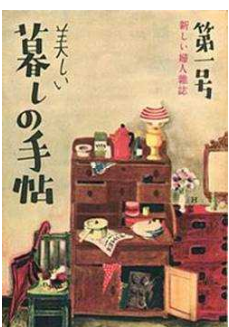
さらに、講演でたびたび来庄した藤岡一橋大学名誉教授から「NHKテレビで舟山当選が統一候補でトップ、そして圧勝、山形の皆さんに敬服します」とお祝いの葉書をいただいた。

さて、赤旗日曜版7月17日号2面の特集。小橋常子は大橋鎮子（2013年3月93歳永



しんぶん赤旗日曜版7月17日号から

眠）、花山伊佐治は花森安治（1978年1月66歳永眠）、雑誌『あなたの暮らし』は『暮らしの手帖』が実名（1948年創刊、1953年11月『暮らしの手帖』に変更）。花森は戦争中、「進め1億日の玉だ」などの標語を作ったことを深く反省、大橋と2人は、「毎日の暮らしが大切、たとえ戦争も踏みにじってならない」と誓い合ったという。これが日本人の戦後初心。購読してない私さえも誌名だけ



は分かるほど広く知れ渡っていた。プロデューサー・落合将さんは、「平凡な日常にこそ幸せがある」の思いを込めて、「常子」にしたという。私たちは「平凡な日常の幸せ」のために闘わざるをえない。「戦後最悪の安倍内閣」のもとでは。



### 野党統一の力

すごい力ですネー。野党と市民が力を合わせるというのは、こういうことだったんですよ。だから安倍首相は、自分らの政策宣伝よりも共産党の攻撃をしてきたとの報道が多くあったのは納得だ。実に大きな開きじゃないですか。12万票とはねー。

ヤ。TPPは、農民・農協だけでなく、広く社会全般に良いことはない。多国籍企業と日本の大企業が金儲けする制度だと判られている。それで自民党の大きな支持団体だった農協組織は自主投票にしたというものだった。だから秋田はおしかったなーです。

▲でも自民党からは大物が応援に入ったですね。初日に農水大臣・最後の日に自民党幹事長が入ったとのこと。党運を懸けての戦いだっただ。大事な1議席だからと日本共産党では志位委員長が山形に来ましたよ。舟山やすえ候補と山形駅前で支持を訴えたのです。

▲全国の一人区では、32のうち11で勝ったんです。福島と沖縄では現職大臣が落ちたんですから、野党と市民が一体となることは全くすごい力になるのだ。（石川）

さて、赤旗日曜版7月17日号2面の特集。小橋常子は大橋鎮子（2013年3月93歳永